

東村 橋梁長寿命化修繕計画 (令和7年度改定)



東村HPより

令和8年3月



東村 建設環境課

1. 東村の概要	1
2. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1
3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	1
4. 長寿命化修繕計画の基本方針	3
5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針	3
6. 健全性の診断	4
7. 管理橋梁の状態及び点検結果について	4
8. 修繕優先度の設定	7
9. 修繕優先度一覧	8
10. 事業計画一覧	9

1. 東村の概要

(1) 気 候

東村は亜熱帯海洋性気候に属し、年平均気温は23.4℃、年間降水量は2,000mm程度と、温暖多湿となっています。

また、夏から秋にかけて襲来する台風と灯籠の季節風は、海から内陸に運ばれる塩分による塩害を受けやすい自然環境にあります。

(2) 地理的特徴

東村は沖縄本島北部の東海岸側の北緯26度37分、東経128度9分に位置し、北は国頭村と大宜味村、南は名護市と接し、南東は太平洋に面しています。

村域は南北26km、東西4～8kmで、面積は81.88kmの細長い形で全体的に山地丘陵地となっており、総面積の約73%が山林原野で占められ、約10%が農耕地、宅地は0.6%です。

河川は豊かな森林に源を発する大小 14 の河川があり、これらの河口部に位置する海岸沿いの低地部に有銘・慶佐次・平良・川田の 4 集落があり、宮城・高江は高台に立地しています。

また、村内の河川のうち主なものとして新川川・福地川・慶佐次川・有銘川がありますが、このうち新川川と福地川には国のダムが築かれ、中でも福地ダムは北部三村6ダムの中核として県内最大規模のダムとなっています。

2. 長寿命化修繕計画の背景と目的

(1) 背 景

東村が管理する橋梁は、18橋（橋長2m以上）で、そのうち15m以上の橋梁は5橋、15m未満の橋梁は13橋となります。

道路は市民生活を支える非常に重要な社会基盤であり、ネットワークが維持されてこそ、その機能が発揮されます。しかしながら、これらの橋梁の大半が老朽化していくなかで、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕等に要する維持管理コストが増大するものと考えられます。

(2) 目 的

このような背景から、村民の安全で安心な生活を確保するため、従来の対症療法型の管理から、予防保全型の維持管理へと転換を図ることにより、橋梁の維持管理費の縮減を図るとともに、限られた予算の中で効率的かつ効果的に橋梁の維持管理を行い、健全な道路ネットワークを保全することを目的に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

3. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級	2級	その他	合計
橋長15m以上	0	0	5	5
橋梁15m未満	1	9	3	13
合 計	1	9	8	18

対象橋梁一覧

1/1

No.	橋梁名・函渠名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	全幅員 [m]	径 間 数	道路等級
1	1号ボックスカルバート	有銘福地線	有銘	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.50	6.14	1	2級
2	1号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	9.40	6.00	1	2級
3	2号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	8.40	6.00	1	2級
4	3号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	8.40	6.00	1	2級
5	花見橋	福地ダム循環線	平良	プレテンション方式 PC単純T桁橋	1997年	28年	21.00	13.40	1	その他
6	公園橋	平良2号線	平良	RC単純中空床版橋	1982年	43年	18.70	8.20	1	その他
7	古島橋	古島線	宮城	ポストテンション方式 PC単純T桁橋	1985年	40年	19.50	6.20	1	その他
8	福地橋	福地線	川田	ポストテンション方式 PC単純中空床版橋	2004年	21年	31.70	7.70	1	その他
9	上福地橋	福地線	川田	ポストテンション方式 PC単純中空床版橋	1985年	40年	30.80	3.80	1	その他
10	1号橋	牛道線	高江	RC単純床版橋	1975年	50年	2.62	4.52	1	その他
11	2号ボックスカルバート	知名又線	有銘	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.50	18.55	1	1級
12	2号ボックスカルバート	照久線	有銘	PCボックスカルバート	1975年	50年	3.00	21.97	1	2級
13	1号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	平良	RCボックスカルバート	1982年	43年	2.70	7.50	1	2級
14	3号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	平良	RCボックスカルバート	1982年	43年	2.00	8.00	1	2級
15	1号ボックスカルバート	中原線	平良	PCボックスカルバート	1982年	43年	2.00	4.40	1	2級
16	1号ボックスカルバート	宇出那覇2号線	平良	RCボックスカルバート	1985年	40年	4.50	8.00	1	その他
17	2号ボックスカルバート	越地線	平良	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.05	5.76	1	その他
18	久美橋	有銘福地線	有銘	プレテンション方式 PC中空床版橋	2018年	7年	12.00	6.20	1	2級

4. 長寿命化修繕計画の基本方針

(1) 健全度の把握の基本的方針

健全度の把握は、最新版の「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局）に基づく点検を定期的を実施し、橋梁の損傷状況を踏まえ継続的に健全度の把握を行っていきます。

また、点検に当たっては55%の橋梁で新技術等の活用を検討し、費用の縮減や効率化に取り組むことを目標とします。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロール等を実施し、橋梁の安全性を確認していきます。

(3) 計画期間及び計画の見直し時期

当該橋梁長寿命化修繕計画の計画期間は令和8年度から令和12年度までの5年間とし、定期点検毎に適宜管理方針・評価の見直しを行います。

5. 事業の効率化・費用の縮減に関する方針

(1) 費用の縮減に関する方針

損傷が深刻化してから大規模な修繕（架替え等）を行う事後保全から、損傷が軽微なうちに修繕を行う予防保全へと転換し、大規模な修繕・更新（架替え）の抑制によるLCC（ライフサイクルコスト）の縮減を図るための日常的な維持管理を検討し、今後5年間に係る費用を、50%縮減することを目標とします。

(2) 新技術の活用

事業の効率化・費用の縮減を推進していくため、新技術を積極的に活用し、以下の取り組みを行います。

- 1) 点検の実施においては、管理する橋梁のうち3橋で新技術の活用可能性について検討を行い、令和9年度までに約55%（約80万円）のコスト縮減を目標とします。
- 2) 補修が必要になった橋梁には、補修工法や補修材料に新技術適用を検討し、補修設計及び施工時に積極的な活用を図り、コスト縮減を目指します。

(3) 橋梁の集約化・撤去

社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路整備状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用等を考慮し、施設の撤去に伴う迂回路の整備や小規模橋梁等の機能縮小、複数施設の集約化など今後5年間で1橋程度の集約に伴う撤去の検討を行い、約100万円のコスト縮減を目指します。

6. 健全性の診断

道路橋定期点検要領では、今後管理者が執るべき対策を判断するための総合的な評価である「健全性の診断」を行うこととなっており、この診断は、各損傷に対して維持・補修等の計画を検討する上で必要な評価となります。

表－1 健全性の診断における判定区分

区分		状態
I	健全	・道路橋の機能に支障が生じていない状態。（次回点検までの間、予定される維持行為等は必要であるが、特段の監視や対策を行う必要の無い状態。）
II	予防保全段階	・道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。（次回定期点検までに、橋の構造安全性の確保や第三者被害の防止のための措置等を行う必要がある状態。）
III	早期措置段階	・道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態。（次回定期点検までに、橋の構造安全性の確保や第三者被害の防止のための措置等を行う必要がある状態。）
IV	緊急措置段階	・道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態。（緊急に対策を行う必要がある状態。）

7. 管理橋梁の状態及び点検結果について

令和5年2月時点

健全性		I		II		III	IV		計
対策区分		A	B	C1	M	C2	E1	E2	
種別	1級	0	0	1	0	0	0	0	1
	2級	1	8	0	0	0	0	0	9
	その他	0	6	2	0	0	0	0	8
区分計		1	14	3	0	0	0	0	18
計		15		3		0	0		18
割合		83%		17%		0%	0%		100%

(1) 修繕措置の着手状況

早急に修繕措置を行う必要がある橋梁はありません。
次回点検時に再検討を行います。

点検結果総括表

NO	橋梁名・溝橋名 カルバート	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	全幅員 [m]	径 間 数	主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	点検 年度
										対象部材	変状の種類		
1	1号ボックス カルバート	有銘福地線	有銘	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.50	6.14	1	頂版・側壁	ひびわれ	I	R04
2	1号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	9.40	6.00	1	橋面	土砂堆積	I	R04
3	2号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	8.40	6.00	1	橋面	土砂堆積	I	R04
4	3号橋	椎原線	平良	RC単純T桁橋	1984年	41年	8.40	6.00	1	主桁・横桁・床版	ひびわれ	I	R04
5	花見橋	福地ダム循環線	平良	プレテンション方式 PC単純T桁橋	1997年	28年	21.00	13.40	1	橋面	土砂堆積	I	R04
6	公園橋	平良2号線	平良	RC 単純中空床版橋	1982年	43年	18.70	8.20	1	主桁	ひびわれ	II	R04
7	古島橋	古島線	宮城	ポストテンション方式 PC単純T桁橋	1985年	40年	19.50	6.20	1	主桁	ひびわれ	II	R04
8	福地橋	福地線	川田	ポストテンション方式 PC単純中空床版橋	2004年	21年	31.70	7.70	1	防護柵	ボルトの脱落	I	R04
9	上福地橋	福地線	川田	ポストテンション方式 PC単純中空床版橋	1985年	40年	30.80	3.80	1	橋面	土砂詰まり	I	R04
10	1号橋	牛道線	高江	RC単純床版橋	1975年	50年	2.62	4.52	1	主桁	うき・欠損	I	R04
11	2号ボックス カルバート	知名又線	有銘	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.50	18.55	1	頂版	ひびわれ	II	R04
12	2号ボックス カルバート	照久線	有銘	PCボックスカルバート	1975年	50年	3.00	21.97	1	頂版	うき 漏水・遊離石灰	I	R04
13	1号ボックス カルバート	屋ノ北1号線	平良	RCボックスカルバート	1982年	43年	2.70	7.50	1	頂版	うき・欠損	I	R04
14	3号ボックス カルバート	屋ノ北1号線	平良	RCボックスカルバート	1982年	43年	2.00	8.00	1	側壁	すり減り	I	R04
15	1号ボックス カルバート	中原線	平良	PCボックスカルバート	1982年	43年	2.00	4.40	1	頂版	欠損	I	R04
16	1号ボックス カルバート	宇出那覇2号線	平良	RCボックスカルバート	1985年	40年	4.50	8.00	1	頂版	うき・ひびわれ	I	R04

点検結果総括表

NO	橋梁名・溝橋名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長 [m]	全幅員 [m]	径 間 数	主な変状と部材		橋梁毎の 健全性の 診断	点検 年度
										対象部材	変状の種類		
17	2号ボックスカルバート	越地線	平良	RCボックスカルバート	1975年	50年	2.05	5.76	1	頂版・側壁	ひびわれ	I	R04
18	久美橋	有銘福地線	有銘	プレテンション方式 PC中空床版橋	2018年	7年	12.00	6.20	1	なし	なし	I	R04

表-1 道路橋定期点検要領における健全性の診断の区分

区分(告示)	
I	健全 道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階 道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階 道路橋の機能に支障が生じる可能性があるが、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急措置段階 道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態

8. 修繕優先度の設定

橋梁を効率的に維持管理していくため、対策を行う優先順位をルール化しました。優先順位は、各橋梁の「健全性」と「重要性」から判断します。

(1) 橋梁の健全性

健全度の評価は点検結果をもとに、橋梁に求められる「耐荷性」「災害抵抗性」「走行安全性」で評価をします。

評価が同等な場合は、重要度の高いものを優先します。

(2) 橋梁の重要性

重要性は、橋梁の諸元や架設環境、交差条件、路線の利用状況などから橋梁毎に評価をします。

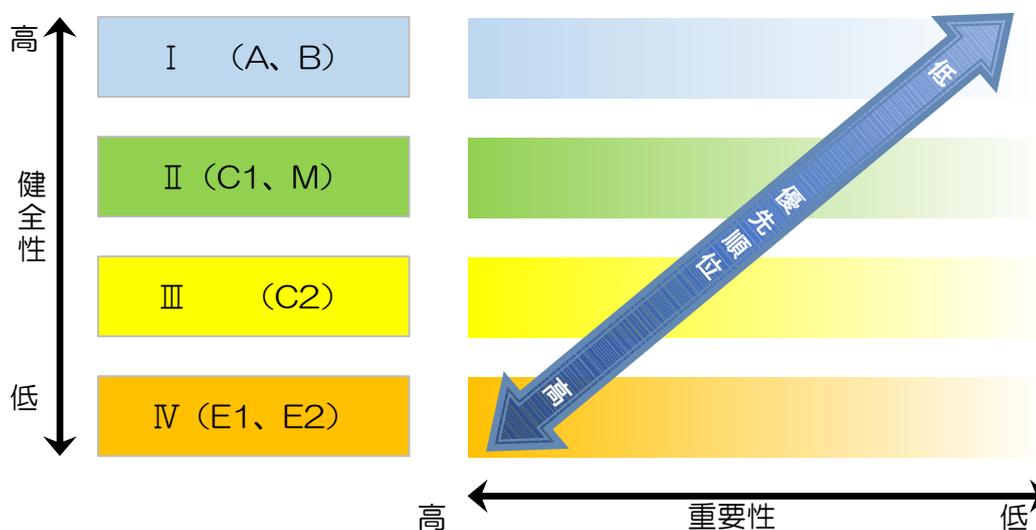
(3) 修繕優先度の設定

修繕優先度は橋梁の損傷度評価点（損傷度＝100－健全度）と重要度評価点の合計で評価します。

なお、合計する場合は係数を設定しており損傷度に重みを置いて評価します。

（損傷度：重要度＝6（ α ）：4（ β ））

$$\text{修繕優先度} = \alpha \times (100 - \text{健全度}) + \beta \times \text{重要度}$$



健全性と重要性を考慮した優先順位

(4) 目標

橋梁の維持管理を効率的に行うことを目標に、修繕優先度の高い橋梁からから措置を行い、予防保全段階、健全へと移行していくことを目標とします。

9.修繕優先度評価結果一覧

修繕優先度評価点=(100-健全度評価点)×0.6+重要度評価点×0.4

橋梁名・溝橋名	路線名称	所在地	架設年次	供用年数	径間数	橋長(m)	健全性の毎診の判断	対策区分の評価	各重要度評価項目の評価点								各評価指標の評価点			健全度評価点	健全度順位	修繕評価優先度				
									緊急輸送道路施設(アークセブ入路)	道路等級	バス路線の有無	迂回路の有無	観光地アークセブ	塩害地域	竣工年時	橋長	交差条件	立地条件	重要度評価点				重要度順位	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性
古島橋	古島線	宮城	1985年	40年	1	19.50	II	C1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	4.8	0.0	0.0	1.33	8	71.20	56.70	44.50	60.04	1	29.30
2号ボックスカルバート	知名又線	有銘	1975年	50年	1	2.50	II	C1	17.0	4.0	0.0	5.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	34.5	1	74.00	82.00	74.00	77.20	2	27.48	
花見橋	福地ダム循環線	平良	1997年	28年	1	21.00	I	B	17.0	0.0	2.0	0.0	3.0	6.0	0.0	4.8	0.0	32.8	2	86.20	85.90	48.50	78.54	5	26.00	
公園橋	平良2号線	平良	1982年	43年	1	18.70	II	C1	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	4.8	0.0	30.3	3	80.00	92.00	44.00	77.60	3	25.56	
福地橋	福地線	川田	2004年	21年	1	31.70	I	B	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	4.8	0.0	24.8	6	83.00	85.00	67.00	80.60	8	21.56	
2号ボックスカルバート	照久線	有銘	1975年	50年	1	3.00	I	B	17.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	27.5	4	84.00	86.00	88.00	85.60	14	19.64	
上福地橋	福地線	川田	1985年	40年	1	30.80	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.5	4.8	0.0	10.3	16	81.00	84.00	65.70	79.14	7	16.84	
2号橋	椎原線	平良	1984年	41年	1	8.40	I	B	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	83.00	85.70	57.30	78.94	6	16.84	
3号橋	椎原線	平良	1984年	41年	1	8.40	I	B	0.0	2.0	0.0	5.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	15.5	7	76.80	83.30	86.50	81.37	10	17.38	
1号橋	椎原線	平良	1984年	41年	1	9.40	I	B	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	81.30	85.00	58.30	78.20	4	17.28	
1号橋	牛道線	高江	1975年	50年	1	2.82	I	B	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	84.00	86.00	64.00	80.80	9	15.72	
1号ボックスカルバート	有銘福地線	有銘	1975年	50年	1	2.50	I	B	0.0	2.0	0.0	5.0	0.0	3.0	2.5	0.0	0.0	12.5	9	84.00	86.00	72.00	82.40	12	15.56	
3号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	平良	1982年	43年	1	2.00	I	B	17.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	27.5	4	96.00	90.00	82.70	92.94	17	15.24	
1号ボックスカルバート	宇出那覇2号線	平良	1985年	40年	1	4.50	I	B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	8.5	18	88.00	86.00	59.30	81.47	11	14.52	
2号ボックスカルバート	越地線	平良	1975年	50年	1	2.05	I	B	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	3.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	84.00	86.00	82.00	84.40	13	13.56	
1号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	平良	1982年	43年	1	2.70	I	B	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	88.00	86.00	83.30	86.27	15	12.44	
1号ボックスカルバート	中原線	平良	1982年	43年	1	2.00	I	B	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	2.5	0.0	0.0	10.5	10	86.00	86.00	90.70	86.94	16	12.04	
久美橋	有銘福地線	有銘	2018年	7年	1	12.00	I	A	0.0	2.0	0.0	5.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	10.0	17	100.00	100.00	100.00	100.00	18	4.00	

10. 事業計画一覧表

【凡例】更新・築替工事 修繕・補修・補強工事 監視・点検毎に修繕の必要性を判断

修繕優先順位	橋梁名	路線名称	橋長(m)	幅員(m)	橋面積(m ²)	架設年次	供用年数 2022年 現在	最新点検年次	橋梁の健全性の診断	措置状況	事業費(千円)										備考				
											2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年		2035年			
											R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		R17			
1	古島橋	古島線	19.5	6.2	120.9	1986年	40年	R04	II	予防保全段階 (監視)	0	0	773	0	0	0	773	0	0	0	0	0	0	次回点検時に判断	
2	2号ボックスカルバート	知名又線	2.5	18.6	46.4	1976年	50年	R04	II	予防保全段階 (監視)	0	0	347	0	0	0	347	0	0	0	0	0	0	次回点検時に判断	
3	花見橋	福地ダム循環線	21.0	13.4	281.4	1997年	28年	R04	I	措置不要	0	0	886	0	0	0	886	0	0	0	0	0	0	メンテナンスにて対応	
4	公園橋	平良2号線	18.7	8.2	153.3	1982年	43年	R04	II	予防保全段階 (監視)	0	0	773	0	0	0	773	0	0	0	0	0	0	0	次回点検時に判断
5	福地橋	福地線	31.7	7.7	244.1	2004年	21年	R04	I	措置不要	0	0	984	0	0	0	984	0	0	0	0	0	0	0	メンテナンスにて対応
6	2号ボックスカルバート	照久線	3.0	22.0	65.9	1976年	50年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	347	0	0	0	0	0	0	0	
7	上福地橋	福地線	30.8	3.8	117.0	1985年	40年	R04	I	措置不要	0	0	984	0	0	0	984	0	0	0	0	0	0	0	
8	2号橋	権原線	8.4	6.0	50.4	1984年	41年	R04	I	措置不要	0	0	717	0	0	0	717	0	0	0	0	0	0	0	
9	3号橋	権原線	8.4	6.0	50.4	1984年	41年	R04	I	措置不要	0	0	376	0	0	0	376	0	0	0	0	0	0	0	
10	1号橋	権原線	9.4	6.0	56.4	1984年	41年	R04	I	措置不要	0	0	717	0	0	0	717	0	0	0	0	0	0	0	
11	1号橋	牛道線	2.6	4.5	11.8	1976年	50年	R04	I	措置不要	0	0	355	0	0	0	355	0	0	0	0	0	0	0	
12	1号ボックスカルバート	有銘福地線	2.5	6.1	15.4	1976年	50年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	347	0	0	0	0	0	0	0	
13	3号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	2.0	8.0	16.0	1982年	43年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	347	0	0	0	0	0	0	0	

10. 事業計画一覧表

【凡例】更新・架替工事 修繕・補修・補強工事 監視・点検毎に修繕の必要性を判断

修繕優先順位	橋梁名	路線名称	橋長(m)	幅員(m)	橋面積(m ²)	架設年次	供用年数 2027年 現在	最新点検年次	橋梁毎の健全性の診断	措置状況	事業費(千円)											備考		
											2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15	2034年 R16	2035年 R17			
14	1号ボックスカルバート	宇出那覇線	4.5	8.0	36.0	1985年	40年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	0	347	0	0	0	0	0	
15	2号ボックスカルバート	越地線	2.1	5.8	11.8	1975年	50年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	0	347	0	0	0	0	0	
16	1号ボックスカルバート	屋ノ北1号線	2.7	7.5	20.3	1982年	43年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	0	347	0	0	0	0	0	
17	1号ボックスカルバート	中原線	2.0	4.4	8.8	1982年	43年	R04	I	措置不要	0	0	347	0	0	0	0	347	0	0	0	0	0	
18	久美橋	有鉾福地線	12.0	6.2	74.4	2018年	7年	R04	I	措置不要	0	0	755	0	0	0	0	755	0	0	0	0	0	平成30年更新済